

出張日程

○12月 8日(日)

午後 名古屋駅発
羽田空港着
羽田空港発

○12月 9日(月)

午後 トリノ着(ミュンヘン経由)

○12月10日(火)

午前 トリノ市役所視察
トリノ市議会 表敬訪問
トリノ市役所 表敬訪問
児童生徒書画展 視察
午後 エジプト博物館 視察
レッジョ劇場 訪問

○12月11日(水)

午前 トリノ王立博物館 視察
午後 トリノ環境パーク 訪問

○12月12日(木)

午後 トリノ発

○12月13日(金)

午後 中部国際空港着(フランクフルト、羽田経由)

12月10日

トリノ市役所視察

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：トリノ市役所

対応者：ステファノ・レ儀典担当

内 容：トリノ市役所庁舎について、トリノ市職員より説明を受け、14世紀から続くバロック様式の庁舎を視察した。

【先方からの説明】

- ・トリノ市役所には職員が約7500人いる
- ・トリノ市の歴史は紀元前後のローマ帝国の時代までさかのぼる。
- ・現在の市庁舎についてはかつてのローマ時代の住居を14世紀に買い取ったのが始まり。当時はトリノ市の人口は3千人であった。トリノの王家であるサヴォア家は先祖がフランスからこちらに移動してきてトリノに定住したのが起こり。それが15世紀ごろ。
- ・現在の庁舎は17世紀に建設されたもの、当時の建築様式のトレンドであったフランスの影響を強く受けた、左右対称のバロック様式。
- ・中心的な部屋は「サラ・ヴェルデ」という部屋であり、「緑の部屋」という意味。イタリア統一前のサルディニア王国期にトリノ市の貴族たちが集い、会議を行っていた場所である。現在も市役所内の打ち合わせなどで使用されている。
- ・市議会の部屋は「サラ・ヴェルデ」に隣接し「サラ・ロッソ」と呼ばれている。「赤の部屋」という意味で、この部屋はリソルジメント完成後の統一イタリア王国期に増築されたもの。



○トリノ市議会 表敬訪問

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：トリノ市役所

対応者：クラウディオ・チェラート議員

内 容：トリノ市議会に表敬訪問を行った。クラウディオ・チェラート議員からは、トリノと名古屋は工業都市という共通点があり、これからも具体的な交流を進めていきたいとの話があった。

松雄副市長からは、トリノ市は歴史のある都市であり、そのような都市と姉妹都市であることは非常に光栄であり、来年の姉妹都市提携20周年に向けて連携をさらに強化していきたいと述べた。



○トリノ市役所 表敬訪問

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：トリノ市役所

対応者：ドメニコ・カレッタ副市長

（スポーツ・大規模イベント・観光およびレジャー担当）

カルロッタ・サレルノ副市長

（教育、学校建設、青少年、都市郊外再生担当）

ダニエラ・ヴィトロッチェ

（文化・スポーツ・イベント・観光誘客担当部長）

ダリオ・デステファニス

（イベント・観光誘客・スポーツ・レジャー担当課長）

モニカ・ロ・カシオ

（社会・衛生・住宅・教育サービス部長）

クラウディオ・スキアラッファ

（教育サービス部門責任者兼トリノ責任教育機関所長）

内 容：トリノ市副市長に表敬訪問を行うとともに、来年度の周年事業にかかる意見交換、名古屋フィルハーモニー交響楽団が2027年にトリノ市のレッジョ劇場で公演を行うことへの協力依頼、トリノ市における外国人生徒へのサポートについてヒアリングを行った。

【先方からの説明】

- ・トリノ市では、約43,000人の児童・生徒のうち、約13,000人がイタリア語が母国語ではない。
- ・保育園から通い始めれば自然とイタリア語を話せるようになるが、そうでない場合、小学校以降での対応が重要となる。
- ・外国にルーツのある児童・生徒を担当するスクールカウンセラーは、イタリア語が得意ではない児童・生徒やその親を支援するほか、イタリア語ができる児童・生徒に外国語や外国文化を知ってもらう取り組みを行っている。
- ・また、大学で外国人へのイタリア語教育を専攻する学生が、サポートに携わっている。



○児童書画展 視察

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：統合情報センターPIU' - Punto Informativo
o Unificato

内 容： 名古屋市から送付した児童書画展の見学を行った。



○エジプト博物館 視察

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：エジプト博物館

内 容：エジプト博物館について、当博物館ダビデ説明員による説明を受け、視察を行った。

【先方からの説明】

- ・展示品は約2万点すべてが本物で、レプリカは一切ない。
- ・展示品は4面ガラス張りで、全方向から鑑賞可能。説明書はイタリア語と英語の2か国語で記載されている。
- ・200周年を記念して展示方法が変更されている。中でも、石造の部屋（写真左下）は元々の発見場所が太陽の下だったことから、実際に発見された状態に近い形で展示するために、窓から太陽光が差し込む展示に変更した。



○レッジョ劇場 訪問

日 時：令和6年12月10日（火）

場 所：レッジョ劇場

対応者：レッジョ劇場 管理者 マチュー・ジョバン
トリノ市 副市長 ロザンナ・プルキア

内 容：名古屋フィルハーモニー交響楽団が2027年にレッジョ劇場で公演を行うことへの協力をお願いするとともに、名古屋市長及び名古屋フィルハーモニー交響楽団理事長からトリノ市長及びレッジョ劇場館長への親書を手渡した。トリノ市側からは、公演の実現に向けて全面的に協力する旨の回答があった。併せて、具体的な公演の日程候補について意見交換を行った。



○トリノ王宮博物館 視察

日 時：令和6年12月11日（水）

場 所：トリノ王宮

対応者：ジョルジア・コルソ教育サービス担当

バルバラ・ヴィナルディ建築及び管理担当

内 容：トリノ王宮職員によるガイドツアーをうけた他、今年7月に新設された車椅子用エレベーターや、1997年の火災で焼失後に再建されたシンドネ礼拝堂を見学した。また、質疑応答を通じて、文化財保護とバリアフリー推進の考え方について意見交換を行った。

【先方からの説明】

○車椅子用エレベーターについて

・百年以上前より存在した王家専用エレベーターの跡地を活用し、今年7月に車椅子用エレベーターを新設した。何度も議論を重ね、設置にあたり壁を2メートル削る決断をしたそう。

○シンドネ礼拝堂

・王宮と大聖堂の間にあったが、1997年12月の火災で焼失。2019年に再建された箇所。車椅子の方が入れるように礼拝堂と元々の部屋を薄い大理石のスロープでつなげてある。

○屋根裏部分

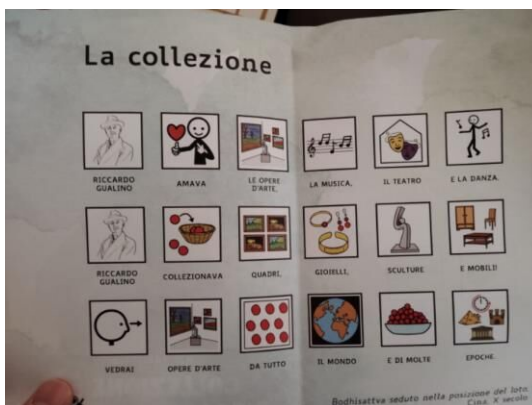
・屋根裏部分には修復ラボラトリーや子供向けの体験施設を設置しており、全盲

や聴覚障害者も楽しめるように展示を工夫している。二次元コードによる手話動画、触覚を活用したアート体験を提供している。

- ・発達障害のある子ども向けに、文字と絵を組み合わせた特別な言語で展示内容を示すパンフレットも作成している。

○その他

- ・視覚障害者向けに絵を点字化する企画を実施予定。
- ・火災予防として火検知センサーと消火器を設置（スプリンクラーは絵がだめになってしまったため設置しなかった）。



○トリノ環境パーク 訪問

日 時：令和6年12月11日（水）

場 所：エンビパーク

対応者：マッテオ・ベックーティCEO

ダビデ・ダモソーオペレーターディレクター

内 容：エンビパークの取り組みについての説明と、施設の案内を受けた。

また、松雄副市長が名古屋市の経済についてプレゼンテーションを行った。

【先方からの説明】

・トリノは工業都市として発展したが、工場が廃墟となって残される事や、土壌汚染という課題を抱えており、エンビパークは環境や持続可能なエネルギーを研究する施設として、第三セクターとして設立された。エンビパークは製鉄所の跡地に設立されており、トリノ工業地域の再開発の中で最も難しいとされていた場所だった。

・エンビパークの株式はトリノ市役所や商工会議所などが保有しているが、助成金には依存せず、民間企業として運営されており、入居企業からの家賃収入や技術コンサルティングを通じて収益を得ている。

（参考）出資比率

ピエモンテ州：38.65%

トリノ市：25.3%

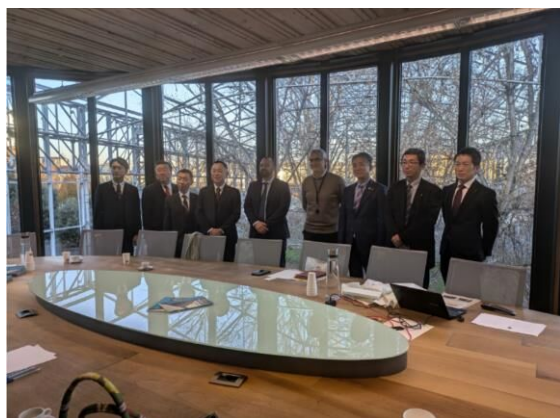
商工会議所：10.45%

その他（軍関係、エネルギー供給会社など）：26%

・オープンラボラトリー（中小企業や研究者が利用可能な施設）を設置し、中小企業や研究者が研究設備を活用することができる。研究成果は地域や産業界にフィードバックされている。

・持続可能な経済活動のモデルケースとして、地域や国レベルで貢献している。

・グリーン屋根や水力発電設備を導入し、施設の電力の50%を自給している。



LABORATORI B2L			PIANO	STANZA
	iti	1	1	
	QUINTECH	1	2	
	SIE	2	1	
	PENN	1	5	
	Tecnoss® Dental s.r.l.	2	2	
	MAR COACH Europe AB		1	
	SAFRA MEDIA srl	2	1	
	TOP SOLUTION		1	
	NOF METAL COATINGS EUROPE s.r.l.	2	2	
	ADF		1	
	PENN	1	5	
	RI			
	newcleo			

